

平成 21 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1475001440	事業の開始年月日	平成18年2月1日
		指定年月日	平成18年4月1日
法人名	有限会社 啓和会メディカル		
事業所名	グループホーム 啓和		
所在地	(〒210-0837) 神奈川県川崎市川崎区渡田2-7-13		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員 名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員 名	
		宿泊定員 名	
		定員計 18名	
		ユニット数 2ユニット	
自己評価作成日	平成21年11月16日	評価結果 市町村受理日	平成22年3月1日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>健康管理についてかかりつけ医（内科）・かかりつけ薬剤師との連携の強化をしてい認知症については生活の不利の側面からの理解だけでなく、病理的な理解を深めるための調整が行われている。</p> <p>また、高齢者とかかわりやすい歯科・皮膚科・眼科には往診を頼める医師の協力があり一人一人の現病歴・既往歴の把握とそのリスクについて予想し先回りしたフォローをしている。</p> <p>病変時にも回復に努力し、万一入院されたときにも早期退院を各関係機関と連携し認知症の進行の防止・ご利用者様の生活への復帰に努力している。</p>
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	神奈川県横浜市中区本町2-10 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成21年12月14日	評価機関 評価決定日	平成22年2月22日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所概要】 このホームは、JR川崎駅からバスで10分ほどの静かな住宅街の中にある。開放感のある玄関前のポーチには、入居者が手入れするプランターが置かれている。誰もが気軽に立ち寄りやすいように並べられた温かみのある木製のベンチは、日常的に入居者と近隣住民との交流の場となっている。建物内の居間や共用スペースは、車いす対応で十分な広さがあり明るく、季節の物と利用者の作品などで落ち着いた雰囲気のある装飾がされている。</p> <p>【医療連携体制】 法人グループの基本理念である「医療・介護・福祉の一貫した地域医療密着サービスを行い各人の生活の質（QOL）の向上を目指します。」に基づいたケアと対応が、利用者一人ひとりに合わせ実践されている。24時間対応の訪問看護、提携病院への緊急入院受け入れ体制があり、協力医がほぼ毎日、訪問診療を行なうなど医療連携が充実している。</p> <p>【地域との交流】 町内会に加入し、地域の様々な行事や活動に幅広く参加するだけでなく、車いすを寄贈したり、介護相談のポスターを玄関先に掲示し住民の相談を受けている。また「こども110番の家」や近隣の小学生の体験学習を受け入れるなど、積極的に地域との信頼関係を深めている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム啓和

作成日 22年 2月24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		災害時の備蓄・地域との連携において。	災害時の備蓄においてさらに水分を中心とした確保。	保管場所と水分の量を確保する。近隣住民への周知を強化しできれば協力をお願いする。	半年から1年
2		現場で期待される専門知識。 現任及び新任者への教育。	専門知識の他に、他事業所との関わりも持つ機会となって介護の仕事に対して大きな視野を持ってもらいたい。	毎月末に法人内の他事業所との合同で講習を行う。	1月～9月までの予定。
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。